

15-06-300 敷鉄板設置・撤去工

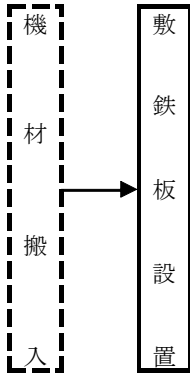
1 適用範囲

本歩掛は、敷鉄板を設置又は撤去する作業に適用する。

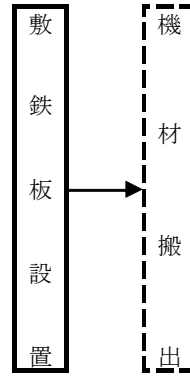
2 施工概要

施工フロー図は、次図を標準とする。

① 敷鉄板設置



② 敷鉄板撤去



- 備考1 本歩掛で対応しているのは、実践部分のみである。  
 2 敷鉄板設置には、位置決め、擦り付け作業等を含む。  
 3 敷鉄板の接合作業は、本歩掛の対象外とする。

図6.1 施工フロー

3 使用機械

敷鉄板設置・撤去に使用する機械・規格は、次表を標準とする。

表6.10 使用機械

機 械 名	規 格	設 置	撤 去
バックホウ（クローラ型）	標準型・クレーン機能付き 排出ガス対策型（第3次基準値） 山積0.8m <sup>3</sup> （平積0.6m <sup>3</sup> ）吊能力2.9t	○	○

- 備考1 バックホウは賃料とする。  
 2 現場条件により上表により難しい場合は、別途考慮する。

4 施工歩掛

(1) 編成人員

敷鉄板設置・撤去における日当たり編成人員は、次表を標準とする。

表6.11 日当たり編成人員(人/日)

使用機械	土木一般世話役	とび工	普通作業員
バックホウ(クローラ型)	1	1	1

(2) 日当たり施工量

日当たり施工量は、次表を標準とする。

表6.12 日当たり施工量

作業種別	単位	バックホウ(クローラ型)
設置	m <sup>2</sup>	656
撤去	m <sup>2</sup>	701

備考 敷鉄板の溶接やガス切断等の作業が必要な場合は、別途計上する。

(3) 諸雑費率

諸雑費は、設置及び撤去における、吊金具及びワイヤーロープの費用であり、労務費、機械賃料及び運転

経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表6.13 諸雑費率 (%)

諸雑費率	1
------	---

(4) 敷鉄板賃料

敷鉄板の規格は、次のものを標準とする。

厚さ t=22mm 重量=173kg/m<sup>2</sup> 寸法 1,524×6,096mm

表6.14 敷鉄板賃料

	3ヶ月以内	6ヶ月以内	12ヶ月以内
賃料 (円/m <sup>2</sup> ・月)			

(注) 月数は少数1位とし、m<sup>2</sup>当たりの賃料を求める。

(5) 敷鉄板整備費

整備費とは、清掃などの簡単なものであり、曲がりや穴埋め等の修理が必要な場合は別途計上。

(6) 積込・取卸費

「03-11-700 運搬費の積算」3)⑤(3)「敷鉄板の積込、取卸しに要する費用」により、共通仮設費の積上げ運搬費として必要に応じて計上する。

なお、単価については森林土木事業適用単価表の「44 仮設材等の輸送費」による。

(7) 単価表

1) 敷鉄板設置・撤去100m<sup>2</sup>当たり単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土 木 一 般 世 話 役		人	1×100/D	表6.11、表6.12
と び 工		人	1×100/D	〃
普 通 作 業 員		人	1×100/D	〃
バ ッ ク ホ ウ ( ク ロ ー ラ 型 ) 運 転	標準型・クレーン機能付き排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> )吊能力2.9t	日	100/D	表6.12 機械賃料
諸 雑 費		%	1	表6.13
敷 鉄 板 賃 料	t=22mm 173kg/m <sup>2</sup> 1,524×6,096mm	m <sup>2</sup>	100	別途計上
整 備 費		m <sup>2</sup>	100	
計				

備考 1 敷鉄板の溶接やガス切断、修理費等が必要な場合は、別途計上する。

2 整備費は撤去時を標準とし、そのほか必要に応じて計上すること。

2) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	指 定 事 項	適用機械工歩掛
バ ッ ク ホ ウ ( ク ロ ー ラ 型 ) ( 片 切 掘 削 )	標準型・クレーン機能付き排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> )吊能力2.9t	【設置・設置共通】 運転労務数量→1.00(供用日) 燃料消費量→112 機械賃料数量→1.06	02-15-470